

平成 30 年 9 月 吉日

関係各位

公益社団法人沖縄県不動産鑑定士協会
会 長 大 城 直 哉
(職印省略)

土地月間に係る無料相談会と記念講演会のご案内

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の運営にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、国土交通省主唱の土地月間実施に伴い、無料相談会と記念講演会を下記のとおり開催することになりましたのでご案内申し上げます。

つきましては、何卒同活動の趣旨をご理解くださり貴関係等の皆様へ、ご案内して頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、無料相談会は直接会場にて受付をします。講演会へ参加ご希望の方は「講演会参加申込書」にて当協会事務局までお申し込み下さい。

謹白

記

『不動産に関する無料相談会』～予約不要当日会場にて受付～

日 時：10月2日（火）午前10：00～午後4：00
場 所：沖縄県本庁舎 県民ホール1階
内 容：土地・建物の価格、賃料、有効利用などについての相談に応ずる。
主 催：公益社団法人 沖縄県不動産鑑定士協会
共 催：沖縄県、公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会
後 援：国土交通省、一般社団法人九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会

『土地月間に係る記念講演会』～別紙申込書にて受付～

日 時：10月10日（水）13：50 開会 16：40 閉会予定（受付開始 13：00）
場 所：沖縄県庁 4F 講堂
演 題：『沖縄における航空事業の役割』
概 要：沖縄県の航空事情、那覇空港の現状と第2滑走路の有効性、航空事業が観光、物流、離島交通に果たす役割とは？
講 師：国立大学法人 琉球大学 地域連携推進機構
（日本トランスオーシャン航空株式会社 価値創造推進部）
非常勤講師 仲栄真 智 氏
定 員：120名（参加費 無料）定員になり次第締切ります
主 催：公益社団法人 沖縄県不動産鑑定士協会
共 催：沖縄県
後 援：一般社団法人 九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会

※台風接近時の対応について

「暴風警報」発令等により公共機関が運行中止する場合は、無料相談会と記念講演会を延期もしくは、中止する場合がありますので、予めご了承願います。

記念講演会参加申込書

平成30年 月 日

公益社団法人 沖縄県不動産鑑定士協会 事務局 宛

FAX 098-869-9181

日時：10月10日(水) 13:50~16:40 (13:00受付開始)
場所：沖縄県庁4F講堂(那覇市泉崎1-2-2)
演題：『沖縄における航空事業の役割』
概要：沖縄県の航空事情、那覇空港の現状と第2滑走路の有効性、航空事業が観光物流、離島交通に果たす役割とは？
講師：国立大学法人 琉球大学 地域連携推進機構 (日本トランスオーシャン航空株式会社 価値創造推進部) 非常勤講師 仲栄真智氏
参加費：無料
定員：120名(定員になり次第締め切ります。)

団体・所属名 _____

連絡先電話番号 _____

FAX番号 _____

参加申込者ご氏名

1	6
2	7
3	8
4	9
5	10

【お問合せ先】公益社団法人沖縄県不動産鑑定士協会 事務局(呉屋)
電話番号 098-867-6275

平成 30 年度「土地月間」イベント

不動産価格の専門家《不動産鑑定士》による

無料相談会



- ☑不動産の価値を知りたい
- ☑土地の有効利用について
- ☑不動産相続を公平に分けたい
- ☑借地・借家に関する相談
- ☑不動産市場の動向など

予約不要です。

日時：平成 30 年 10 月 2 日 (火) 10:00~16:00

会場：沖縄県庁 1F 県民ホール (那覇市泉崎 1-2-2)

お問い合わせ先 公益社団法人 沖縄県不動産鑑定士協会
TEL098-867-6275

共催：沖縄県、公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会

後援：国土交通省、一般社団法人九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会

毎月第 2 水曜日にも
協会事務局にて無料相談所
を開設しています。
(完全予約制)

平成30年度 土地月間記念講演会のお知らせ

主催：公益社団法人 沖縄県不動産鑑定士協会

共催：沖縄県

後援：一般社団法人 九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会

日時：平成30年10月10日（水） 13時 開場 / 13時50分 開会

場所：沖縄県庁4F講堂

参加費：無料

定員：120名

事前に当協会事務局までお申し込み下さい。

定員になり次第締め切りとさせていただきます。

「沖縄における航空事業の役割」

講師 仲栄真 智 氏

国立大学法人 琉球大学 地域連携推進機構

(日本トランスオーシャン航空株式会社 価値創造推進部)

非常勤講師 仲栄真 智 氏

概要 沖縄県の航空事情、那覇空港の現状と第2滑走路の有効性、航空事業が観光、物流、離島交通に果たす役割とは？

沖縄県の2017年度の入域観光客は957万人達し、今年度は1000万人に達しようという勢いである。昨年の入域観光客の約63%は空路を利用していることから航空事業が沖縄観光にとって重要な交通手段であるといえる。一方で沖縄の玄関とも言える那覇空港は2020年、第2滑走路の供用開始が計画されているが、滑走路の2本化は発着便数の増加につながるのだろうか？

本県の離島交通において航空事業は地域住民の生活の足としても重要な役割を担っている。沖縄県の離島交通政策と連携してどのように離島交通が運営されているのかなど沖縄における航空事業の役割について紹介します。

[講師略歴等]

1959年名護市出身

1983年国立琉球大学法文学部卒業 同年南西航空(株)入社

2010年執行役員八重山支社長、JTA ササ`ンスカイサービス(株)代表取締役社長

2012年日本トランスオーシャン航空常勤監査役

2017年琉球大学派遣(社長特命)、琉球大学地域連携推進機構 非常勤講師

お問合せ先 公益社団法人沖縄県不動産鑑定士協会事務局 電話番号 098-867-6275